


YANASE

VOLKSWAGEN

Scirocco

'80 MODELS





1,588cc 82HP/5,500rpm(DIN) 12.2kg-m/3,200rpm(DIN)
165km/h 160km/h(AT) tan θ 0.42 0.40(AT)
ALL INDEPENDENT SUSPENSION
FRONT DISK BRAKE
175/70SR-13 STEEL RADIAL PLYTYRES
FRONT TREAD 1,390mm REAR TREAD 1,360mm
OVERALL LENGTH 3,885mm OVERALL WIDTH 1,625mm
OVERALL HIGH 1,310mm WHEEL BASE 2,400mm

Real Speciality

ジウジアーロの美学にカルマンの入魂。リアルスペシヤルティ、シロッコ。

シンプルな造形のフロントマスクから、ちょっとヒップアップ気味のリヤエンドへ、少しの乱れもなく流れるライン。大地をとらえるローウエストのフォルム。それは、エアロダイナミクスを極め、美しく走るために生まれたものだけがもつ完成された造形美にほかなりません。

ジウジアーロがデザインし、カルマン工場で丹念にコーチビルドされるシロッコは、フォルクスワーゲンが誇るリアル スペシヤルティ。1974年発売以来の累計生産台数がわずかに350,000台に過ぎないことを見ても、ひとつひとつ、手づくりに近い工程を経て生まれる限定生産車であることがおわかりになることでしょう。また、リアル スペシヤルティの格調を誇りながら、すぐれた経済性と耐久性を備えているのも、フォルクスワーゲン車ならではのこと。シロッコは時代の求めるさまざまなファクターを高いレベルで実現しています。「砂漠の熱風」シロッコ。私たちは、熱い走りを予感させる名を持つ、この美しいスポーツクーペを、心から愛してくださる方だけにお乗りいただきたいと願っているのです。





シロッコGTE(B-53EJ)

これしかないと思えるクルマが、いま果たしてあるのだろうか。
このシロッコのように。



シロcco GTE(B-53EJ)

天使のように大胆に、悪魔のように繊細に。

シロcco、走りの美学。

美しさと研ぎすまされたドライバビリティから、スポーツクーペの名を欲しいままでにしてきたシロcco。いま、その走りはさらにダイナミックになりました。フロント部に横置きされた直列4気筒エンジンは、排気量1,588cc、最高出力82HP/5,500rpm、最大トルク12.2kg-m/3,200rpmと大幅にパワーアップ。

トランスミッションは新登場のスポーティな5スピードマニュアルのほか、3スピードオートマチックも用意。ドライバーの感性をダイレクトに、しかもきめこまやかにホイールへと伝えます。ひたすら走ることだけを求められて生を受けたフォルクスワーゲンのスポーツクーペ、シロcco。いま、大いなる走りの世界へ。



このシンプルな運転席が、実はドライバーの
すべてを知りつくしているという事実。

ドライバーズシートに座り、ステアリングホイールを握ったその瞬間から、何年も乗りなれた車のような安心感を抱かせる。それがシロッコの運転席まわりです。例えばシート。長い椅子の暮らしに裏打ちされた伝統と最新の人間工学が、疲れ知らずの快適な座り心地を生みだしています。さらに、無段

階調節式のフルリクライニング機構や、十分な稼働量のシートスライド機構を装備。どんな体形の方にも、最適なドライビングポジションが得られます。また、インストルメントパネルは、シロッコのスポーティドライビングを予感させる機能的なデザイン。必要なものだけを特によりすぐり、見やすい位置に見

やすい形で、使いやすい位置に使いやすい形でレイアウトしています。シロッコのcockpitデザインは、すべて乗る人の側からの発想。あなたに、無理な動きや無用な緊張を強いることはありません。シロッコ本来のスポーティドライビングを、思う存分お楽しみいただけます。

輸入車のエアコンのスイッチ類は写真と異なります。



快適さも使いやすさも、
パフォーマンスのひとつと考える。

シロッコのキャビンに身を置いた時、まず、その広さにきつとびっくりなさることでしょう。キリリとひきしまったスタイルからは想像もできないほど、ゆったりとした空間がひろがっています。フロントのレッグスペースも、エンジン横置きFWD方式ならではの広さ、ドライバーが最もラクな姿勢を

とれるのはもちろんのこと、後席も「2+2」設計の車としては十分に余裕のある空間が確保されています。また、幾何学模様をあしらったジャンバスシートはリアルスペシャルティ、シロッコにふさわしい個性的なデザイン。その適度な柔かさは、長距離ドライブでも疲れ知らずの快適さを約束。そして、効果的な4ス

ピードエアコンディショナーや、つややかな音色のAM/FMマルチカセットも標準装備。シロッコは、あくまでも走ることに焦点を当てて設計されたクルマ。だからこそ、人間と密接に関りあうキャビンを最も大切に考えたといっても過言ではありません。フォルクスワーゲンが快適さもパフォーマンスのひとつと考えます。

輸入車のエアコンのスイッチ類は写真と異なります。



シロココGTE(B-53EJ)

走りに徹していながら、決してユーティリティを忘れない。
フォルクスワーゲン車の、それは血筋だ。

美しいスタイルに見事にマッチしているからでしょう。シロココが、こんなに大きなリヤゲートを備えていることに気づかない方が多いようです。片手でかんたんに開け閉めができるリヤゲートは、ウォール・ツウ・ウォール、車幅いっぱいになります。トランクルームスペースは何と340ℓ。スポーツクーペとし

ては異例の広さです。トランクルームの覆いとなるハードパネルは、身のまわりの小物を置くのにもうってつけ。そして、リヤシートを倒せば、トランクルームスペースは、一挙に530ℓにアップ。休暇をフルに利用してのロングドライブでも、荷物を積み残してしまうことはまずないでしょう。ゴルフバッグや

釣りの道具はもちろん、ラジコン飛行機や絵道具、そしてアンティークショップで見つけた揺り椅子など趣味の品々も…。ドライブングに大きな喜びを感じ、心から打ちこめる趣味をお持ちのあなた。スーパークーペ、シロココは、そんな豊かな心の持ち主にこそふさわしいマルチユースカーでもあるのです。



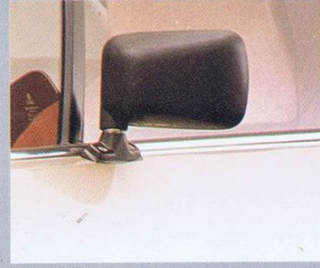
セフティパッド付ステアリングホイール
ホイール中央にソフトな感触のセフティパッドを備え、万一の時にドライバーをショックから守ります。



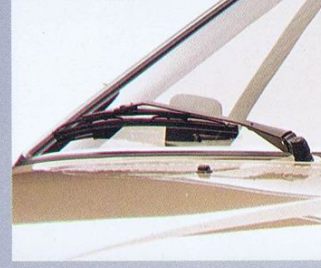
センターコンソール
油温計と高精度のクォーツクロックが組みこまれています。小物のいれるスペースとしても便利です。



4スピードエアコンディショナー
フォルクスワーゲン社純正のエアコンを標準装備。雨の日などには除湿用としても使え、室内さわやか。



室内調整式ドアミラー
窓を閉めたまま室内から角度の調節ができるため、路肩の確認なども容易にでき、便利です。



間けつ式ワイパー
霧や雨の時に威力を発揮します。また、大きなブレードを持つ一本式のワイパーもシロッコの特徴です。



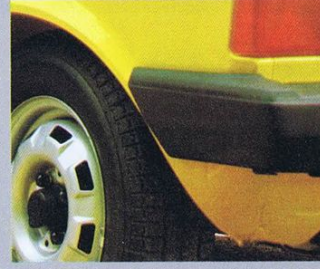
リヤウインドーワイパー
独特のカーブを持つワイパーアームにより、リヤウインドーワイパーは、大きな拭払面積を確保します。



4灯式シールドビーム & フラッシャーランプ
きわめて明るいシールドビームは夜間走行も疲れ知らず。フラッシャーランプは大型で視認性抜群です。



マットブラックセンターピラー
シロッコのシャープなサイドビューをひきしめる、マットブラックのセンターピラー。精悍です。



プラスチックカバーバンパー
ホイールアーチまで大きくまわりこんだ大型バンパーが、ボディへの衝撃を最少限にいとめます。

ただ美しさだけで、ただ速さだけで、
シロッコ、充 実の装備群。

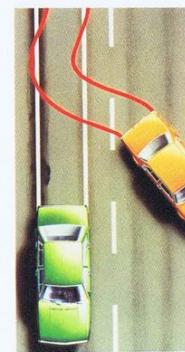
スーパークーペの名は語れない。



シロッコGTE(B-53EJ)

セーフティドライビングシステム、FWD方式

どんな道でも安心して走れる。高速走行時に強い横風を受けても安定した運転ができる。こうした、シロッコのすぐれたドライバビリティを支えているもののひとつにFWD（フロントホイールドライブ）方式があります。前輪にかかる加重が大き



き、駆動力が路面にムダなく伝わるため、つねにすぐれたロードホールディングを発揮。しかもステアリングは軽く、コーナリング特性もきわめてニュートラル。安全性が高く、扱いやすいシロッコなら、あらゆるシーンで、胸のすくようなすばらしいドライビングが、思いのままに楽しめます。

しなやかな足、4輪独立懸架

パワフルな心臓には、強くしなやかな足が必要です。シロッコのサスペンションシステムは、フロントがマクファーソンストラット式、リアがトワーリングアーム式の4輪独立懸架。路面や車体姿勢の変化にすばやく対応し、つねに確実なロードホールディングを発揮します。また、4輪が独自に路面からのショックを吸収するため、乗り心地も実にソフト。ラフロードでも滑るように駆け抜けることができます。4輪独立懸架というしなやかな足を持つシロッコにとって、きついコーナーもラフロードも、ドライビングを満喫するための楽しみのひとつに過ぎません。

シロッコの安全性を握るもうひとつのカギ、ネガティブステアリングロールラジラス

キングピン軸の中心延長線がタイヤの中心接地点より外側になるようにセットされたステアリングシステム、それがネガティブステアリングロールラジラスです。前輪のどちらか片方がパンクしたりアイスパーンに乗りあげてスリップしてもクルマはあくまで直進性を確保。つまり、ドライバーの運転技術やカンなどだけに頼らず、クルマそのものが安全をめざそうとするわけです。これは、フォルクスワーゲン社の安全性に対する考え方を実証する、価値あるシステムです。

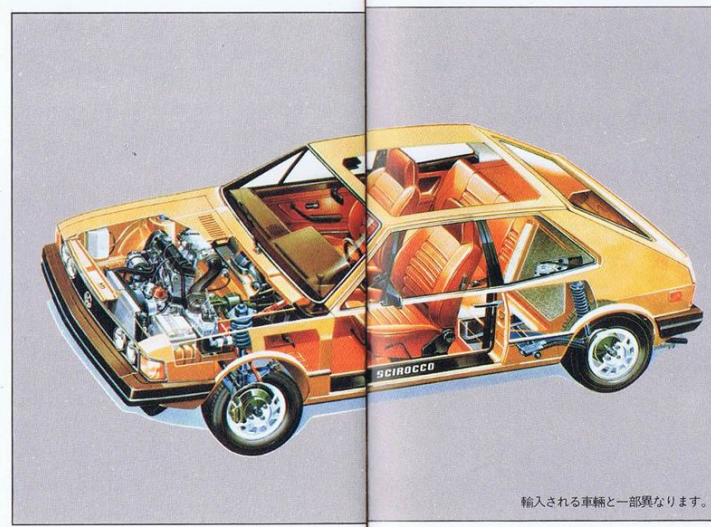
走りさらに鮮烈に。安心のダイアゴナル ツインサーキット ブレーキシステム

高性能なクルマほど確かな制動力を持つブレーキシステムが要求されます。シロッコは、右前輪と左後輪、左前輪と右後輪の組み合わせで結んだ2系統回路、ダイアゴナルツインサーキットブレーキシステムを採用。万一、片方の回路にトラブルが生じても、クルマは安定した制動力を失なうことなく、まっすぐの姿勢のまま停止することができます。フロントブレーキは、もちろんディスクタイプ。耐水・放熱性にすぐれているため、激しい雨の中や長い下り坂での連続使用、また、パニックストップピングなどでも、つねに確かな制動力を発揮します。



パワーアップ、1600cc直列4気筒 OHCエンジン

排気量1,588cc、最高出力82HP/5,500rpm (DIN)、最大トルク12.2kg-m/3,200rpm (DIN)。80年型シロッコには、このパワフルな直列4気筒エンジンが搭載されました。低回転域から高回転域へと、ストレスなくいきいきと吹きあがり、微妙なアクセルワークにも間断なく応答するレスポンスのよさ。全回転域にわたってフラットで余裕あるトルク設定。これらが、シロッコ自慢の加速性能、高速性能と、市街地などでの扱いやすさを同時に実現しています。また、マグネシウムとアルミの合金製エンジン、電動式クurling



輸入される車輛と一部異なります。

ファン、アルミ製ラジエターなどが、すぐれた冷却性と静粛性を発揮。速く、スムーズに、クールに、静かに。シロッコに新しく搭載された1600ccエンジンで、スポーツカーペの名にふさわしいスポーツドライビングが、心ゆくまで楽しめます。

乗る人の安全を守るボディ設計

シロッコのボディには、ESVW(安全実験車)の開発研究や、実車の衝突実験などから得たさまざまなデータがいたるところに生かされています。セーフティセル構造もそのひとつ。これは、各ビラーやルーフ、フロ

アパネル、トウボードなどの剛性をコンピュータ解析に基づいて高め、頑丈なセル(殻)のようなキャビンに仕上げるというものです。いわば、シロッコの剛の部分。そして、もうひとつ、ボンネット部分に代表されるクラッシュアブゾーンがあります。ボンネット部分は、正面から大きな衝撃を受けると、アコーディオン状に変形。衝撃のエネルギーをキャビンに伝えることなく、効果的に拡散吸収します。こちらは、計算されつくした柔の部分。こうした2種類の長短を持つボディによって、乗る人間に与えるダメージを最少限におさえることができるのです。



安全実験車の経験から生まれた衝撃吸収ステアリング万、衝撃を受けると、ステアリングは2カ所に設けられたユニバーサルジョイントで折れ曲がり、キャビン内につきざないように設計されています。もちろん、正面からだけでなく、あらゆる方向からの衝撃に対しても有効にはたります。ボディ自体のセーフティセル構造やクラッシュアブゾーンの設定などあいまって、乗る人は、あくまでも安全に守られているのです。

シャープなレスポンスビリティ

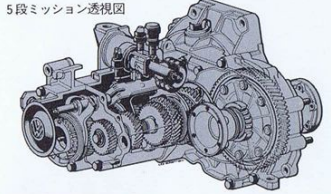
ラック & ビニオンステアリングシステム
シロッコの熱い走りをもっと鮮やかに、そしてよりシャープに際立たせているのが、ラック & ビニオン式のステアリングシステム。ドライバーの意志に素直に反応し、間断なくクルマへと伝えるシャープなレスポンスビリティなど、スポーツドライビングに欠かせない操舵感を備えています。また、わずかな力で軽々と操

作できるため、車庫入れや縦列駐車、せまい道でのUターンなどでの扱いやすさもひとときわです。

好みに応じて選べる2タイプのトランスミッション

よりスポーツライクなドライビングを楽しむなら5スピードマニュアル。高速走行時には特に、燃費と静粛性の向上にも大きな効果を発揮します。イージードライビングをお望みなら3スピードオートマチック。

5段ミッション透視図

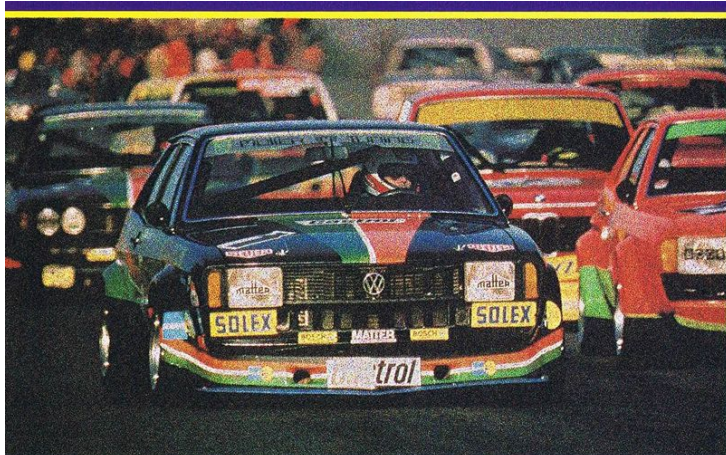


ギヤのつながりもきわめてスムーズで、クルマは文字通り滑るよう。通常走行時はDレンジに。コーナリングをハードにせめてみたい時、シロッコ自慢の後烈な加速性能をひきだしたい時などは2レンジにシフトダウン。マニュアルミッション車同様の走りを楽しめます。

ベストチョイス、175/70SR13 スチールラジアルタイヤ

シロッコは、175/70SR13 コンチネンタルスチールラジアルタイヤを標準装備。FWD方式、4輪独立懸架、ワイドトレッド(前1,390mm・後1,360mm)などがもたらす高いロードホールディングをいっそう確かなものにするベストチョイスタイヤ。もちろん、乗り心地もきわめてソフト。つねに快適なドライビングが楽しめます。

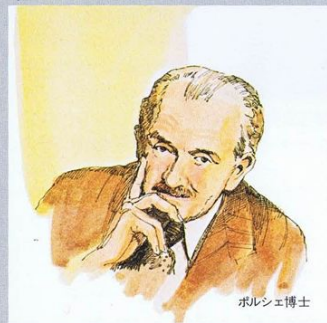
母なるアウトバーンが、シロッコの走りを生み、
安全性を 育てあげた。



いま、ビートルからニューゼネレーションへ

おとな2人と子ども3人のひと家族がゆったりと乗れ、性能もよく、頑丈で、しかも安いクルマをという、現代でも立派に通用する国民車構想のもとにあの愛すべきビートル、フォルクスワーゲン（ドイツ語で国民車）が誕生したのは1936年のこと。以来30年以上にわたって、ビートルは世界中の人々に愛され続けてきました。そしていま、フォルクスワーゲン社は、そのポリシーを受け継ぎながら、ニューゼネレーションへと大いなる一歩を踏み出したのです。ボクシーなスタイル、FWD方式の採用と、形は変わっても、理想のクルマにかける想いは

同じ。フォルクスワーゲン社は、世界中の人々に愛され、長い年月をともに過せるリーズナブルなクルマを目指しているのです。このニューゼネレーションのトップをきって登場したのが、1973年に発表されたハイグレードファミリーセダン、パサートでした。そして、1974年9月には、ビートルの後継車といわれるベーシックカー、ゴルフが誕生しました。どちらも、あきのこないデザイン、使いやすさと安全性を第一に考えた基本設計、フォルクスワーゲン車ならではの高い信頼性などによって、たちまちのうちに世界中にその仲間を得、その数



ホルシェ博士

はいまなお増えるばかり。こうしたポリシーを抱きながら、少々趣きの変ったクルマとしてセンセーショナルなデビューを成し遂げたのが、今までご紹介したスポーツクーペ シロccoです。ジウジアアロがデザインし、カルマン工場で丹念にコーチビルドされたこのシロccoは、1974年3月のジュネーブショーで注目を浴び、まさにリアルスペシャリティとして不動の地位を築きあげました。フォルクスワーゲン社は、時代に迎合するつもりはありません。ただ、多くの人々に本当に愛されるクルマをつくりたいと思っているのです。パサート、ゴルフ、そしてシロcco。そのすべてに、あのビートルの精神が宿っている。それが私たちの誇りです。

信頼のための数々のプロセス

ヨーロッパ最大の風洞実験室

世界中の人々に愛されるクルマをつくるために、フォルクスワーゲン社は、実にさまざまな開発実験を進め、データのフィードバックに専念しています。例えば、ウルフスブルグには、ヨーロッパで最も大きく、最も設備の充実した風洞実験室があります。180km/hで走行中にクルマが受ける空気抵抗をそのまま再現できる、出力3500馬力の送風機で、毎日のように風洞実験が繰り返されているのです。シロccoのラインを一本一本決めていったのもこの実験室でした。高速で走るクルマにとって、空気抵抗は決して無視できることではないのです。もちろん、燃費を少しでも向上させるためにもこの実験は欠かせません。シロccoの美しいスタイルのかげには、こうした風を相手の物語が隠されているのです。

もうひとつのフォルクスワーゲンファミリー

フォルクスワーゲン社には、実験に生命をかける49人の大家族がいます。ひとり160万円から700万円もの費用をかけてつくられたテストダミーたちです。彼らは、ほとんど人間と同じような反応を示すように設計され（幸いなことに痛みを感じる

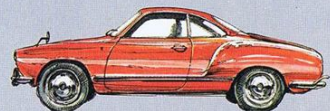
ことはありません）、衝突実験や路上事故テストなどの、貴重なデータを得るために貢献しているのです。さまざまな安全対策のなされたシロccoの開発にも彼らは参加しました。そして、安全性を第一に考えるフォルクスワーゲンのリアルスペシャリティにふさわしいセイフティシステムが生まれたのです。

エーラレシエンのテストコース

理論や実験室での検討だけでなく、クルマに生命を与えることはできません。実際に走らせてみた時の状態を知るために、フォルクスワーゲン社では、ウルフスブルグから約25kmほど離れたところに、広大なテストコース、エーラレシエンを持っています。ここには、最高速度の耐久テストを行なう一周21kmのハイスピードトラック、エンジンや電装関係、そして塗装のテストに使う塩水の水たまり、現実には存在しないほどの悪路、アルプスの山道を想定してつくったワインディングトラックなど、およそ考えつく極限の状況を再現できるコースが次々と並んでいます。こうしたテストコースで地獄のような毎日を通してきたクルマにとって、日常のドライブは、まさに天国のようなものなのです。

コーチビルダー カルマン、その魂

シロccoのボディは、コーチビルダーの名門、カルマン工場で丹念につくられます。曲線の織りなす美しい造形によって、いまだに熱狂的なファンを持つ、あのカルマンギヤも、その名の通り、カルマン工場から生まれたクルマでした。わずかな妥協も許さず、ひとつひとつ手造りにも近い工程を経て作りあげられるシロcco。その造りのよさは、カルマンギヤの最も正統な後継車にふさわしいものです。そして、曲線から直線へとそのスタイルは変わっても、カルマンのエンジニアたちの手から生まれるシロccoには、伝統に裏打された魂とでもいべき彼らの愛情が惜しみなく注がれているのです。



曲線とまめられた美しいボディフォルムが、世界中に多くのエンthusiastsを生んだ、フォルクスワーゲン カルマンギヤ。

カロツツェリアの鬼才

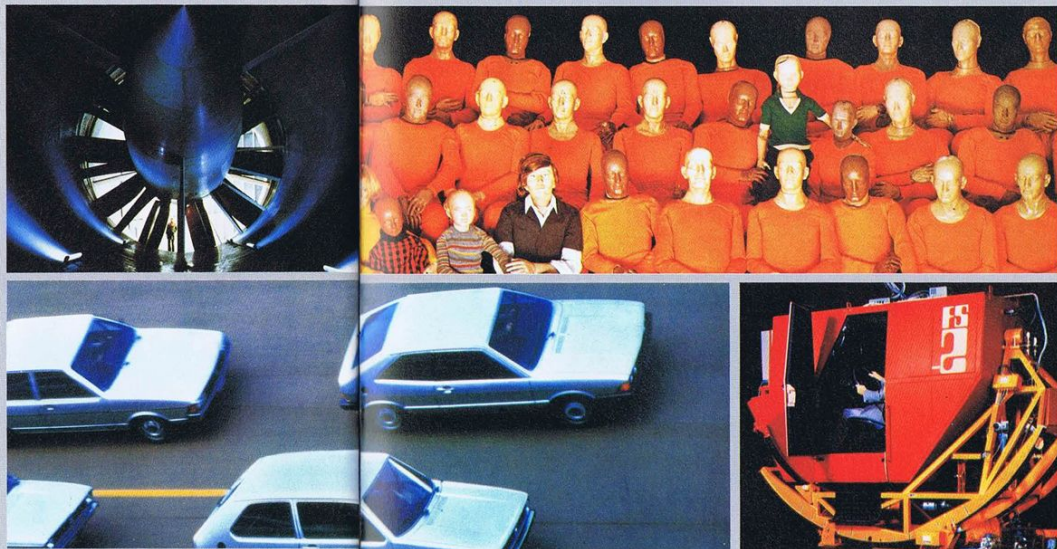
ジョルジョ・ジウジアアロ、その魂

直線とまめあげられたそのシンプルな造形の中に、鮮やかな個性を宿す、スポーツクーペ、シロcco。その美しいスタイルは、見る人の目を、心をとらえずにはおきません。このデザインを手かけたのが、イタリアンカロツツェリアの鬼才、ジョルジョ・ジウジアアロです。彼は世界の自動車史上に残る数々のカーデザイナーの名作を生みだしてきました。そしてフォルクスワーゲン車のデザインを手がけることにより、その名声をいよいよ不動のものとしたということができています。



フォルクスワーゲンとの出会い

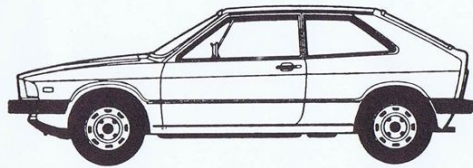
ジウジアアロとフォルクスワーゲンとの出会いには、おもしろいエピソードがあります。1969年のトリノショーにフォルクスワーゲングループのロッツ社長が来た時のことです。ロッツ氏は、会場に展示されているものうち、自分の気に入ったクルマをメモしてまわり、それらのカーデザイナーは誰かと、あるジャーナリストに質問しました。何とすべてがジウジアアロの作品でした。こうして彼はいよいよフォルクスワーゲン車のデザインに着手する機会を得たのです。自分かデザインしたフォルクスワーゲン車の中で最も気に入っているクルマをひとつだけあげて欲しいとの質問に、彼はこう答えています。「シロccoです。疑問の余地はありません。—— I like Scirocco, no doubt about it.」



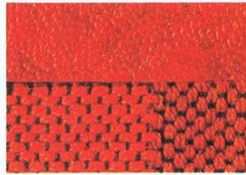
フォルクスワーゲンが、カルマンが、そしてジウジアアロが、
「砂漠の熱風」を巻き起こした。

ボディ・カラー/シート・インテリア・トリム

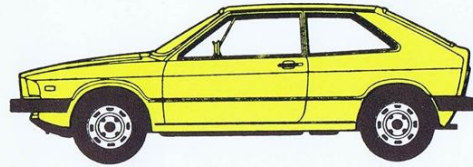
☆メタリックペイントをご指定の場合は別途料金がかかります。
☆ボディカラー、内張りのカラーは、印刷インキの具合で実際の色と多少違って見えますので、ご了承ください。
☆ボディカラー、内張りに関し、このカタログでご不明の点は、フォルクスワーゲン販売店にお問合せください。



アルパインホワイトP1



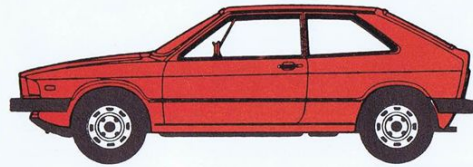
カーマイン/ブラックEK



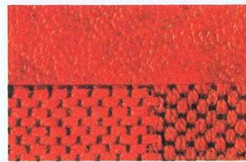
レモンイエローB2



コプリググリーン/ブラックEL



マーズレッドG6



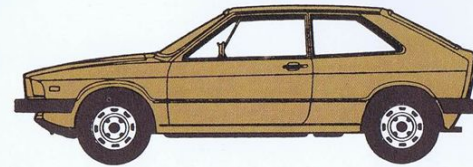
カーマイン/ブラックEK



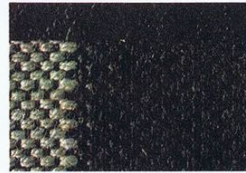
プラチナムメタリックY6



ブラック/ブラックEG



パールメタリックZ3



ブラック/ブラックEG

標準装備

		Scirocco GTE
ミッション	前進5速・後退1速マニュアル 前進3速・後退1速オートマチック	●
タイヤ	175/70SR13スチール ラジアル タイヤ	●
バッテリー	12V 63A	●
外装	ラバー付センター モール シールドビーム ヘッド・ランプ4灯式	●
シート	アジャスタブル ヘッドレスト付フル リクライニング フロント シート 幾何学模様ジャンバス クロス	●
	シートベルト	●
計器盤	前席：ELRタイプ3点式 後席：2点式	●
	エレクトリック クロック(クォーツ)	●
	スピード メーター	●
	タコ メーター	●
	油温計	●
	水温計	●
	メーター照度調節スイッチ トリップ レコーダー	●
オーディオ	AM/FMマルチカセット ステレオ(オートアンテナ)	●
空調	4スピード エアコンディショナー サイド ウィンドー用吹出口	●
ドア	アーム レスト	●
天井クォーター	オール レザー貼り	●
内	スモークング	●
	その他	●
	ウォーニング	●
安	ガード	●
	ブレーキ	●
	全	●
	性	●
機	機能性	●
		●

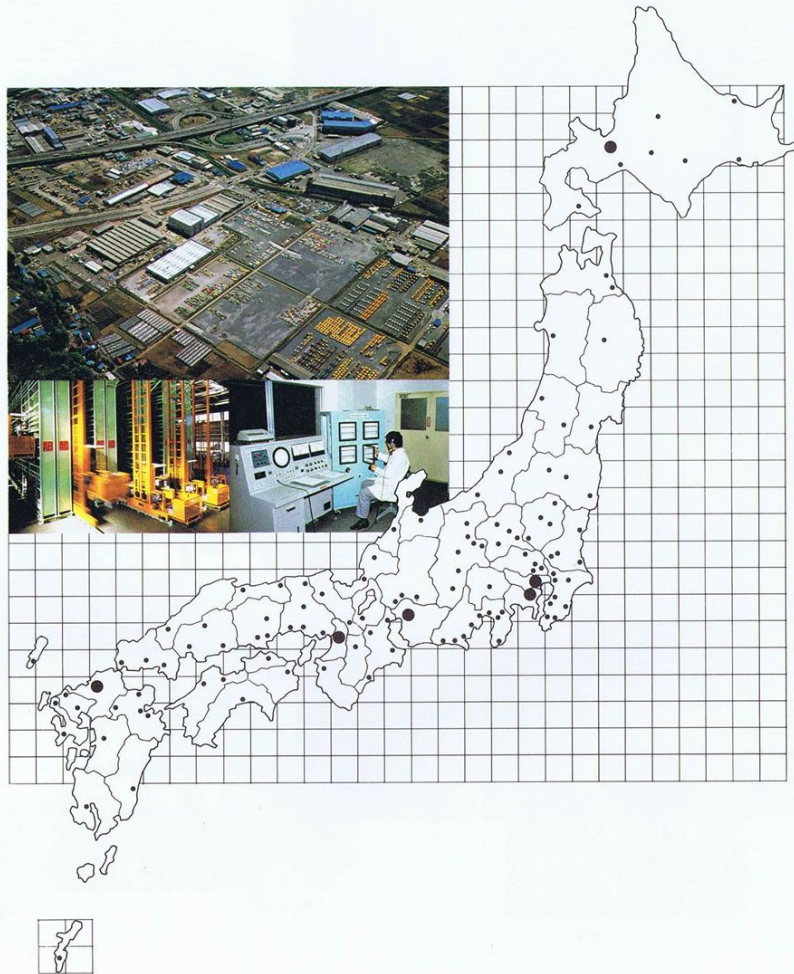
諸元表

	SCIROCCO GTE COUPE(M/T)	SCIROCCO GTE COUPE(A/T)
●型式	B-53EJ型	B-53EJ型
●寸法・重量		
全長	mm 3,885	3,885
全巾	mm 1,625	1,625
全高	mm 1,310	1,310
ホイールベース	mm 2,400	2,400
トレッド 前/後	mm 1,390/1,360	1,390/1,360
最低地上高	mm 140	140
車軸重量	kg 875	895
乗車定員	名 4	4
●性能		
最高巡航速度	km/h 165	160
登坂能力	tan θ 0.42	0.41
最小回転半径	m 5.0	5.0
●エンジン		
型式	EJ型	EJ型
種類	直列4気筒水冷 フロントエンジン	直列4気筒水冷 フロントエンジン
内径×行程	mm 79.5×80.0	79.5×80.0
総排気量	cc 1,588	1,588
圧縮比	8.0	8.0
最高出力 (DIN)bP/rpm	82/5,500	82/5,500
最大トルク (DIN)kgm/rpm	12.2/3,200	12.2/3,200
燃料タンク容量	ℓ 45	45
使用燃料	無鉛	無鉛
●諸装置		
クラッチ	乾燥単板ダイヤ フラム	トルクコンバー ター
トランスミッション	マニュアルは前進5段・後退1段、1.2.3.4.5速 オートマチックは 前進3段・後退1段、フルオートマチック	
変速比	第1速	3.455
	第2速	1.944
	第3速	1.290
	第4速	0.969
	第5速	0.759
後退	3.167	2.462
最終減速比	3.895	3.762
フロント サスペンション	マクファーソン ストラット	マクファーソン ストラット
リア サスペンション	トレーリング アーム	トレーリング アーム
ブレーキ 前/後	ディスク/ドラム	ディスク/ドラム
使用タイヤサイズ	175/70SR13	175/70SR13

●このカタログに掲載の標準仕様は、後斜子吉なく変更される場合がありますので、ご了承ください。
●日本に輸入される車は、安全対策および排気ガス対策の点で現行の国内基準をすべて満たしています。

より美しくあれ。より逞しくあれ。
そして新しい 風を……。

外車最大のサービスネットワーク。



日本全国200余カ所で、 あなたのシロッコをお待ちしています。

ヤナセオートローン。

融資会社との提携により、月々のご負担が少なく、無理なく、お求めいただける長期返済(48回迄)のヤナセオートローンをご利用いただけます。お支払いは便利な自動引落しです。詳しくは、販売店にお問合せください。

あなたの車はJAF会員車。

ヤナセはJAF(日本自動車連盟)と提携、夜間・休祭日のロードサービスを全面的に委託しております。VW・アウディをお買上げいただきますと、入会金及び初年度会費を販売店が負担し、JAF会員車としてお納めいただけます。200余ヶ所のVW・アウディサービスネットに加えて、110余ヶ所のJAFロードサービスネットが、いつでも、どこでもご利用になります。



《ヤナセ・メンバーズ・カード》のご案内。

より豊かなヤナセライフをお楽しみいただくため、フォルクスワーゲン、アウディをはじめヤナセ取扱いの車をお買上げいただいたお客さまだけを対象に《ヤナセ・メンバーズ・カード》を用意いたしました。会員になられますと、ヤナセならではの数々のサービス、ご便宜が受けられます。

- ★ 全国200カ所以上のヤナセサービスネットで、キャッシュレスでサービスが受けられます。YMCのカード1枚あれば、どんなロングツーリングも、これで安心。心おきなく、日本縦断の旅にも出かけられるというものです。
- ★ 自動車以外の、ヤナセが世界から集めたファッションや家電製品等の一流品を、分割払いで手軽にお求めいただけます。
- ★ さらに、日本信販との提携により、全国31,000店の日本信販加盟店でもご利用いただけます。

フォルクスワーゲンのサービスポリシー。それは、サービス体制の整わない所には、車を売らない、車を売る所には、サービス体制を整える、ということ。それは、世界中、どこでも同じ。車は常に万全な状態で走らなければならないというクラフトマンシップが、こうしたポリシーを生み、実現させているのです。そこには、車自体がいくら良くても、走るための条件は、また十分に必要だという現実主義が感じられます。自分たちがつくったものに対する限りない愛情と、その愛情を支える合理的精神が、安心してフォルクスワーゲン車にお乗りいただけるサービス体制となっているのです。ヤナセは、外車を輸入して65年。今、外車最大のネットワークのサービス体制をつくり出しました。1915年、キャデラック、ビュイック輸入、販売以来、その豊かな経験を生かし、みなさまに世界の名車を安心してお乗りいただけるよう「万全の部品供給体制と納得のいくサービス」をスローガンにサービスネットを充実させて来たのです。北は北海道から南は沖縄まで、全国200カ所以上にわたり、毎月1回、定期部品供給を行っています。そのフォルクスワーゲン、アウディの部品はなんと、27,000品目にも及び、コンピューターの導入によって、必要な部品はいつでも素早くお届けできるシステムを採用しました。ワーの時には、深夜のトラック便やカーゴフライトであなたの愛車のために部品を供給します。こうした部品供給体制と同時に、フォルクスワーゲン・アウディの車を知りつくした優秀なサービスマンたちを配属。特別に開発されたツールで均質なサービスをお約束。いつでも、どこでも、ご不便をおかけしないよう努力しています。また、定期点検も一貫したシステムで、正確なデータで診断、記録。ムダなくスピーディに行っています。世界の名車を、常に最高の状態でお楽しみいただけるよう、ヤナセは責任のサービス体制で、あなたのシロッコをお待ちしているのです。

いいものだけを世界から

●フォルクスワーゲンについての詳細は、下記の販売店にお問い合わせ下さい。

good new days
人間へいい車しい生活を

ヤナセ

総輸入元 株式会社ヤナセ
フォルクスワーゲン・アウディ専売部
〒105 東京都港区芝浦4丁目6-30
電話(大代表) 東京(03)452-4311